

平成 30 年度 J A 鳥羽志摩「あぐりスクール」実施要領

1. 趣 旨

現在、「食」の外部化・簡便化・多様化が進み、食をめぐる環境は急激に変化している。食生活のバランスは崩れ、特に子供たちの食生活が乱れている。

こうした状況を背景に、J Aグループでは、安心して暮らせる豊かな地域社会の実現と地域貢献への取組みの中で、食農教育を実践することとした。農業体験等を通じ、「農」と「食」と自然環境の関わりを重視し、農産物がいのちを育み、成長していく過程を大切にしながら、食への関心・興味を高揚し、食の大切さ、食を支える農の役割、自らのくらしと社会の営みとのかかわり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどに対する理解を広げ深めるために実施しようとする。

2. 目 的

- ① 健全な食生活の実現と豊かな人づくり
- ② 地域農業への理解、消費拡大と食料自給率の向上
- ③ J Aへの理解と仲間づくり

3. 名 称 J A鳥羽志摩あぐりスクール
4. 事業主体 J A鳥羽志摩
5. 実施場所 大王町波切字大方の田、J A鳥羽志摩長沢育苗施設 他
6. 実施時期 平成 30 年 4 月～12 月（基本的に月 1 回、計 8 回予定）
・別紙「平成 30 年度あぐりスクール年間授業計画（案）」参照
7. 対 象 者 管内親子 20 組 小学校新 3・4 年生対象
(但し対象者以外の兄弟姉妹は参加不可)
8. 参 加 費 年間 1 人 2,000 円
※ J Aグループの食農教育をすすめる子供雑誌「ちゃぐりん」代、
親子体験学習昼食代相当等実費負担有り
9. 募集方法 教育委員会を通じて学校に依頼し案内を配布して頂き、各支店で申込を受け付ける。保護者と子どもに課題を提出して頂き、それも加味して選出する。
10. 募集期間 平成 30 年 4 月 9 日（月）まで
11. 事業予算 J Aバンク協調型事業助成金を活用
・別紙「平成 30 年度あぐりスクール収支予算書」参照
12. 協 力 員 大方里山を愛する会、J A鳥羽志摩 女性部
13. 広報活動 広報誌「Family」等により活動の様子をお知らせする
また地元報道関係へのニュースリリースをし、情報提供を行う